

平成 20 年 5 月 16 日

学術情報流通改革検討ワーキンググループ活動報告

平成 19 年 6 月 28 日に開催の新理事会において、電子ジャーナル出版社等との契約に関して今後の方針を協議するためのワーキンググループが設置されることとなった。このことを受けて参加者を募り以下の活動経過の後に、ステートメントを公表し、シンポジウムを開催した。

1. 活動経過

(1) 準備会 8 月 3 日(金) 於：東京大学

資料により現状を再確認し、フリーディスカッションを実施。今後のワーキングの進め方について協議。

(2) 第 1 回会合 8 月 31 日(金) 於：東京大学

論点の整理と作業分担について協議。

(3) 第 2 回会合 9 月 26 日(水) 於：東京大学

作業分担者からの報告を基に現状認識と中長期的展望について協議。

(4) 秋季理事会へ中間報告を提出 10 月 26 日(金)

今後の進め方として、図書館の枠を越えて大局的に捉えなおす必要性をアピールしていくため、(a) ステートメントの公表、(b) 大学や出版関係者による会合の開催、(c) 図書館職員向けのシンポジウム等の開催を提案。

(5) 第 3 回会合 12 月 12 日(水) 於：東京大学

ステートメントの取りまとめについて協議。

(6) 第 4 回会合 平成 20 年 2 月 25 日(月) 於：学会分館

ステートメントの取りまとめと、大学や出版関係者によるシンポジウムの開催について協議 (国立大学図書館協会としてステートメントを公表し、シンポジウムを開催することについては、3 月 17 日(月)付けで理事会に承認申請)。

2. ステートメント公表 4 月 4 日(金)付け

シンポジウム開催通知に添付して 4 月 7 日(月) [Janul 495] にて各加盟館に周知したほか、国立大学協会、文部科学省、国立情報学研究所、報道各社にもシンポジウム開催案内に際してステートメントを添付した。

3. 大学や出版関係者によるシンポジウム開催 5 月 1 日(木) 於：東京大学

「学術情報流通の改革を目指して ~電子ジャーナルが読めなくなる?!~」と題し、東京大学にて開催した。168 名 (学長及び理事 4 名、主要出版社 5 社、図書館長及びセンター長 31 名を含む) の参加者を得て、基調報告とパネルディスカッションにより、現在の危機的状況と新たな取組の必要性をアピールし、今後も引き続きすべての関係者が協力してこの問題に対応してゆくことが確認された。

4. 学術雑誌・電子ジャーナル「Q and A」及び「基礎知識」の作成と配付

「Q and A」とその詳細版にあたる「基礎知識」を作成し、「Q and A」はシンポジウムの参考資料として参加者に配付した。

「基礎知識」は、近日中に各加盟館宛に配付する予定である。

以 上

学術情報流通改革検討ワーキンググループ 参加者一覧

(平成20年4月1日現在)

五十嵐哲郎	北海道大学附属図書館事務部長
加藤 信哉	東北大学附属図書館総務課長
植松 貞夫	筑波大学附属図書館館長
関川 雅彦	筑波大学附属図書館情報管理課長
森 一郎	千葉大学情報部学術情報課専門職員
西郷 和彦	東京大学附属図書館館長
星野 雅英	東京大学附属図書館事務部長
栃谷 泰文	東京大学附属図書館総務課長
木村 優	東京大学附属図書館情報管理課長
山本 和雄	東京大学附属図書館総務課専門員
杉山 宗武	東京学芸大学学術情報部情報管理課長
鈴木 清一	東京海洋大学附属図書館事務長
羽入佐和子	お茶の水女子大学附属図書館館長
長友 良維	一橋大学学術・図書部学術情報課長
矢田 俊文	新潟大学附属図書館館長
伊藤 義人	名古屋大学附属図書館館長
三原 英夫	京都大学附属図書館総務課長
細戸 康治	大阪大学附属図書館事務部長
小花 洋一	岡山大学学術情報部長
石井 道悦	広島大学副図書館長
荒木啓二郎	九州大学附属図書館副館長
濱崎 修一	九州大学附属図書館事務部長
渡邊由紀子	九州大学附属図書館eリソースサービス室長
土屋 俊	国立大学図書館協会会長特別補佐